

グリーフケア研究所主催

パスカル・インテルメイヤー先生 講演会開催について

緩和ケア・死生学・グリーフケアを巡る諸課題の専門家でおられる Pascal Hintermeyer (パスカル・インテルメイヤー)先生(ストラスブール大学名誉教授)にご講演の機会をいただきました。墓参りなど死者を想い弔う儀礼にはどのような意味があるか、新しい視点からお話くださいます。

講演の概要:

私たちは「死別」を、喪失や悲しみを伴うネガティブなものとして捉えがちです。しかし、死者は生者にとって、様々な形で重要な存在であり続けます。例えば、死者は生者に、知識や財産、様々な事柄における指針を与えてくれるとともに、生者の健康や生者同士の連帯にも貢献してくれます。また死者は、私たちがもっている数々の価値観を改めて見つめ直すよう促してくれる存在でもあります。本講演では、死者との関係を肯定的に捉えるという観点から、「死別」の理解や、死者が生者にもたらす象徴的なつながりの意義について考察します。

記

講題:死者の存在 ― 死者との肯定的な関係をめぐる考察

Presence of the dead: Reflections about a positive relationship with dead people

日時:2025 年 9 月 1 日(月) 18 時から 20 時

受付:17 時 30 分から

会場:上智大学四谷キャンパス (6 号館 5 階 503 教室)

※対面開催のみ。オンラインでの同時配信や録画視聴はありません。

会費:無料

言語:英語 (講演資料の和訳を配布します)

共催:上智大学大学院実践宗教学研究科

※資料準備のため、事前申し込みをお願いしています。以下のリンク先から、9 月 1 日 13 時までにお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/5dsFvanvHv>

なお、先生からは、以下のご講演も頂戴する予定です。ぜひご参加ください。

●8 月 23 日(土):「終末期ケアの倫理と脆弱性―死の幫助をめぐる国際的・学際的視点からの探究―The Ethics of End-of-Life Care and Vulnerability: An International and Interdisciplinary Exploration of Assisted Dying」

https://www.suibe.jp/info/20250823_sophia_symposium/

●8 月 27 日(水):自殺ほう助の諸問題についての再検討

https://www.suibe.jp/info/20250827_suibe-symposium/